

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、高血圧内科では、先行研究で同意を得て保管した残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 原発性アルドステロン症患者における NLR、PLR、MLR 測定の臨床的な意義とその有用性

[研究対象者]

2012年4月～2021年1月までの間に、高血圧内科にて原発性アルドステロン症と診断され、高血圧内科で診断・治療を受けられた方

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：副腎手術残余検体

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、身長、体重、血圧、血液検査（血算、白血球分画、腎機能、血糖値、脂質、カリウム）、内分泌検査（アルドステロン値）、血管内皮機能検査（FMD 値）
血算の値から、リンパ球好中球比率(NLR)、血小板リンパ球比率(MLR)、単球リンパ球比率を算出します。

副腎手術残余検体は先行研究「各種副腎疾患における(プロ)レニン受容体発現に関する検討」に対し同意取得済みの検体を用いることとする。

[利用の目的]（遺伝子解析研究：有）

残余検体を用い腫瘍のKCNJ5遺伝子変異の有無がNLR、PLR、MLRなどの炎症マーカーと関連するかを明らかにします。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2026年3月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないよう加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 山中寿

研究責任者：東京女子医科大学 内科学講座 教授・基幹分野長 市原淳弘

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 内科学講座 講師 渡辺大輔

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）